



第36回読書感想画中央コンクール 作品募集のお知らせ

イメージキャラクター
おほんちゃん

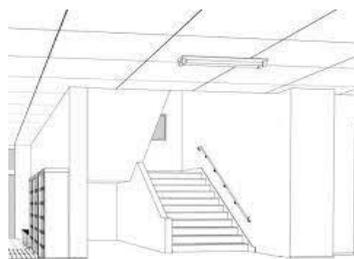


- ☆指定読書・自由読書それぞれ各1点応募できます。
- ☆×切…校内×切 令和7年1月8日(水)
- ☆指定読書…下記参照
- ☆自由読書…自由に選んだ図書の感想画
- ☆用紙・画材…用紙は画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙。画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。(版画、はり絵も可。)
- ☆寸法…36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさ。
- ※詳しくは、芸術科の根岸先生または図書館までお問い合わせください。

図書館開放について

◇◇保護者の皆様へ◇◇

面談週間にあわせて図書館を開放します。
お越しの際は、ぜひお立ち寄りください。
【期間】12月9日(月)～13日(金)
【時間】13:00～16:00



図書委員オススメの本



『スピノザの診察室』 夏川草介・著 (水鈴社) 2023年



私が推薦する本は「スピノザの診察室」です。2024年の本屋大賞にノミネートされたのがきっかけで読んでみました。この本は京都の町中の地域病院で働く内科医の雄町哲郎のお話です。夏川草介さんは現役の医師であり、その著者が到達した「人の幸せとは」について書かれています。この本は難しい病気を最先端の医療で治療していく様子が描かれているのではなく、治らない病気を抱えている患者さんの生と死について穏やかに向き合っていく様子が描かれています。

この本の題名にもある「スピノザ」はオランダの哲学者であり、ヨーロッパの哲学、思想史において重要な人物のこです。また高度な技術と集中力を要するレンズ磨きを生業のひとつとする人物でした。なぜこの本の題名に「スピノザ」の名前が使われているのかというと、この本の主人公である雄町哲郎の人としての素晴らしさ、医師としての腕のよさが讃えられています。とても面白くて、幸せについて考えさせられる物語です。

〈第36回読書感想画指定図書〉

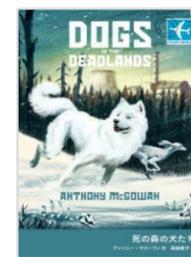
中学校・高等学校の部



『夜空にひらく』
いとうみく・著
(アリス館)2023年



『リラの花咲く
けものみち』
藤岡陽子・著



『死の森の犬たち』2024年
アンジー・マゴ・ワウ・著
尾崎愛子・訳(岩波書店)



『レドリスト・プラネット』
アナ・クレイボン・著
大山泉・訳(評論社)2023年



『深海ロボット、南極へ行く』
後藤慎平・著
(太郎次郎社エディタ)2023年

『赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。』

青柳碧人・著（双葉社）2020年



この本は赤ずきんを主軸として、赤ずきんが旅の途中で遭遇するさまざまな事件を解決していくミステリー小説です。この物語では主人公の赤ずきんの他に、各章ごとにシンデレラやヘンゼルとグレーテルなどの他の童話作品のキャラクターも関わって物語が進んでいきます。魔女などのファンタジー要素が含まれた童話が多く関わっていますが、小説内でのトリックは元となる童話に出てくる魔法以外が関わってくることはないため、童話の内容を少しでも知っていれば、純粹にミステリー小説として楽しむことができると思います。難しい言葉がなくスラスラと読めるので、「ミステリー小説って難しそう」と思っている人にもオススメです。

『銀河鉄道の夜』

宮沢賢治・著（新潮社）2012年



銀河鉄道の夜は宮沢賢治を代表する作品の一つです。大まかなあらすじは、貧しく孤独な少年ジョバンニがある夜に突然「銀河鉄道」という銀河（星の集まり）を走る列車に乗車することになり、親友のカムパネルラと共に銀河鉄道で美しい銀河を旅していくというものです。この本で特におすすめしたいところは風景描写の美しさです。この本の宇宙には、現実にはないような不思議で、幻想的な空間が広がっており、銀河もこの本では星の集合体ではなく、宇宙を流れる川として描写されています。銀河を流れる水についての「ガラスよりも水素よりも透きとおって」という表現が私はとても好きです。もちろんストーリーもよく、哲学的で考えさせられる物語なので、ぜひ読んでみてください。

『かがみの孤城』辻村深月・著（ポプラ社）2017年



私がこの本を推薦した理由は、主人公のころがある事を通じて大きく成長し、それまで不登校だったのに学校に行けるようになった姿に心を打たれ何度も勇気をもらったからです。主人公ころは学校でのいじめや差別によって自信をなくし、学校に行かなくなりました。しかしそんなある日、突然部屋の鏡が白く光り始めました。輝く鏡をのぞき込んでみると、そこにはなんと大きな城があったのです。またその大きな城の中にはなぜかころと彼女と同じで、いじめや家庭内暴力を受けて学校に行けなくなってしまった7人、オオカミの面を被った女の子がいたのです。なんでこの7人が？なんでこの場所に？いろんな問いが出てくると思います。そんなあなたはぜひこの本を読んでみてほしいです。全部読むときっとナゾがとけるとともに感動すると思います。

『あの夏が飽和する。』

ガザキオリ・著（河出書房新社）2024年



この本はカンザキオリさんの楽曲「あの夏が飽和する。」の13年後を描いています。楽曲は流花という少女がある日いじめっ子を殺してしまうところから始まる逃避行を描いた作品となっています。小説では少女と生き写しの瑠花との出会い、その瑠花には裏の顔があり危機が迫っている。今度こそ大切な人を守るためには…。

まずカンザキオリさんの文章が素敵です。読みやすく美しく、また人が追い詰められていく様がとても生々しく描写されています。死んでいく人間には壮絶な過去があったのだと想像できます。ストーリーについても表裏を見ることができるよう構成になっています。表では今どきの青春を感じられるラブコメですが、そこには常に裏の世界が覗いていて緊迫感が張りつめています。現代の問題も描かれていて、ちょうど僕らとルカの年代が重なるので今読むと一層美しく残酷に感じられることでしょう。夏は終わってしまいましたが、ぜひ楽曲も併せて聴いて、読んでみてください。

新着図書

書名	著者名	出版社	請求記号
フェイクニュースを哲学する	山田圭一	岩波書店	115
知られざる古墳ライフ	譽田亜紀子	誠文堂新光社	210.3
新・大学でなにを学ぶか	上田紀行編著	岩波ジュニア新書	377
君がここにいるということ	緒方高司	草思社文庫	493
テクノロジーが予測する未来	伊藤穰一	SBクリエイティブ	502
循環経済入門	笹尾俊明	岩波新書	518

※本館にない図書も相互貸借(他館借り受け)でご用意できる場合があります！司書までお声かけください。

書名	著者名	出版社	請求記号
文化財の未来図	村上隆	岩波新書	709
マンガでわかる！小論文 書き方のルールとコツ	大堀精一監修	Gakken	816
小鳥とリムジン	小川糸	ポプラ社	913.6
新謎解きはディナーのあとで 2	東川篤哉	小学館	913.6